

赤ちゃん医学から生まれた

Aprica

チャイルドシート

マシュマロジュニアエア－ 8サポート ネオ

取扱説明書

体重15kg以上36kg以下のお子様用です。
進行方向に対して**前向き**の3点式シートベルトの
座席にのみ取り付けできます。

このたびは、アップリカ製品をお買い求めいただき、ありがとうございます。ご使用になる前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
マシュマロジュニアエア－8サポート ネオを改造したり、本取扱説明書の取扱い方法以外の方法で使用されますと、衝突などの緊急時に、お子さまの安全を守るための機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。
また、いざというときのために、本書は必ずチャイルドシートの取扱説明書ポケットに保管してください。

もくじ

ご使用の条件	2
ご使用になれるお子さまの体重と条件	2
ご使用上の注意	2～7
危険	3
警告	4～5
注意	5～6
禁止	7
ラベルの貼付位置及び内容について	8
チャイルドシートを取り付ける座席について	8
取り付けできない座席	9
シートベルトの種類について	10
チャイルドシートについて	10
製品の特徴	10
本体と付属品の名称	11
緊急の場合には	11
ご使用の前に	11～12
背もたれの取り付け方	11～12
点検	12
操作方法	13
背もたれの高さ調節	13
車の座席への取り付け方法	14～17
背もたれ付きの場合	14～17
取り付け後の調節方法	18
背もたれの取り外し方	19
車の座席への取り付け方法	20～21
背もたれを外した場合	20～21
取り付け後の調節方法	22
日常のお手入れ	23～25
縫製品の取り外し方	23～24
縫製品の洗浄について	25
プラスチック部分のお手入れ	25
保管方法	25
廃棄方法	26
保証について	26
アフターサービスについて	26
アフターサービスについて	〈アフターサービスについての連絡先〉
製品仕様	26
保証書	裏表紙

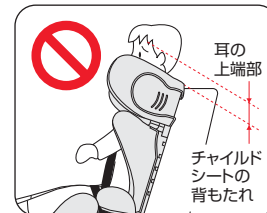
ご使用の条件

- ・本製品は日本国内においてのみご使用になれます。Effective only in Japan.

ご使用になれるお子さまの条件

〈背もたれ付きの場合〉

- ・体重が15kg以上25kg以下。
- ・腰が安定し、一人座りができる。
- ・チャイルドシートに座った時、車のシートベルトのタングが、バックルに差し込めること。
- ・チャイルドシートに座った時、頭部重心位置（耳の上端部）がチャイルドシートの背もたれの上端部より出ないこと。



〈背もたれを外した場合〉

- ・体重が15kg以上36kg以下。
- ・腰が安定し、一人座りができる。
- ・チャイルドシートに座った時、車のシートベルトのタングが、バックルに差し込めること。
- ・チャイルドシートに座った時、頭部重心位置（耳の上端部）が車のシートの上端部、又はヘッドレストの上端部より下になること。




ご使用上の注意

- ・**危険**、**警告**、**注意**の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したもので、**禁止**の表示と共に大変重要な内容です。必ず守ってください。

表示	表示の内容
△ 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
△ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
△ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。
⊘ 禁止	絶対してはいけない内容です。

危険

・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

⚠ 危険		
	体重 15kg 以上～ 36kg 以下のお子さま以外に使用しない。	
	背もたれの肩ベルトガイドにお車のシートベルトを通さない状態で使用しない。また、確実に固定できない座席では使用しない。	
	背もたれ付きの場合は肩ベルトガイドがお子さまの肩よりも低い位置及び 3cm 以上高い位置では使用しない。	衝突や急ブレーキなどにより車両より放り出されたり、フロントガラスにぶつかり生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。
	お子さまが正座したりひざを立てて座らせた状態で使用しない。	
	チャイルドシート使用時は、お子さまを一人で車内に残さない。	お子さまの不特定の行動によりシートベルトが首に巻き付いたり、炎天下の車内の高温により生命に関わる重大な事故につながるおそれがあります。

警告

・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

⚠ 警告		
	お子さまの首や腹部など身体の弱い部分にシートベルトを掛けない。	衝突や急ブレーキなどにより首や腹部などを締めつけられるおそれがあります。
	チャイルドシートを直射日光にさらさない。(特に駐車時)	プラスチック部分などが熱くなり、やけどのおそれがあります。熱くないことを確認してからお子さまを座らせてください。
	チャイルドシートに二人以上のお子さまを同時に座らせない。	衝突や急ブレーキなどにより、お子さまが圧迫されるなどして重大な傷害を受けるおそれがあります。
	肩シートベルトや腰シートベルトがねじれたり緩んだ状態で使用しない。腰シートベルトは骨盤上以外の位置で装着しない。(腰シートベルトは骨盤の低い位置で装着する。)	
	車の運転中にチャイルドシートの操作やベルトの調節などを行わない。	運転者が操作をすると、道路交通法違反(前方不注意)になり、交通事故をおこすおそれがあります。
	チャイルドシートの底面の一部分にクッション、座ぶとんなどを敷かない。	走行中に、敷いたものがずれてチャイルドシートが不安定になり重大な事故につながるおそれがあります。
	乗降時に通路になる座席にチャイルドシートを取り付けない。(2ドア、3ドア車及び1ボックス車など)	衝突などの緊急時に、車内の人が脱出できなくなり重大な事故につながるおそれがあります。

警告



背もたれ部のみを使用など、本取扱説明書に記載されていない組み合わせでは使用しない。

衝突や急ブレーキなどにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

注意

・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

注意



車の座席が皮仕様の場合には、直接取り付けない。
(チャイルドシートと座席の間に保護シート(薄いゴムマットなど)をご使用ください。)

皮シートが損傷を受けるおそれがあります。



火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。

樹脂が変形し性能を維持できなくなります。



通常の椅子として使用しない。

転倒して、お子さまがけがをするおそれがあります。



小さなお子さまにチャイルドシートの取り付けや、操作をさせない。

衝突などの緊急時に、お子さまの安全を守る為の機能が十分発揮できなくなるおそれがあります。

注意



本品を車のシートの可動部やドアに挟まない。

本来の性能が損なわれるおそれがあります。



本品に重量物を載せない。



固定されていない物を車内に置かない。

急ブレーキや、衝突時にお子さまに当たるおそれがあります。



チャイルドシートがシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。

重大な事故につながるおそれがあります。



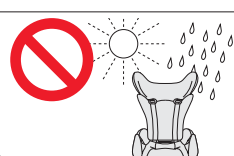
シートベルトで固定していないチャイルドシートを車内に置かない。

衝突や急ブレーキ時に車内に転がり、運転の妨げになることがあります。



本体の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。

変色、変形、劣化のおそれがあります。



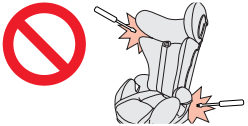
直射日光が当たったり雨がかかる場所及び、高温や多湿の場所に保管しない。

製品が変形及び、劣化し性能を維持できなくなるおそれがあります。

禁止

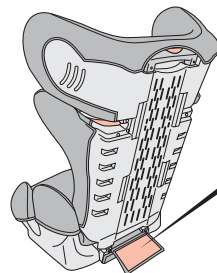
・絶対してはいけない内容です。

禁止

	事故などで強い衝撃が加わった後に使用しない。	外観上破損が見えなくても本来の性能が損なわれる場合があります。
	落下、放り投げなどによる強い衝撃が加わった後に使用しない。	
	屋外に放置し雨などにさらした後に使用しない。	
	シートカバー内部のクッション材を外したり、他のものと交換したり、破れた状態で使用しない。	
	本品を分解、改造、指定以外の部品と交換した状態で使用しない。	衝突などの緊急時に、お子さまの安全を守る為の機能が十分発揮できず、生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。
	お子さまの上着やズボンなどに、おもちゃなどを入れた状態や、拘束性能に影響を与えるようなアクセサリを取り付けない。	
	保護者などがいすなどとして使用しない。	
	お子さまの遊び道具として使用しない。	本来の性能が損なわれる場合があります。また、お子さまがけがをするおそれがあります。

ラベルの貼付位置及び内容について

・チャイルドシートには、ご使用上の注意を記入したラベルを下記の箇所に縫い付けています。ラベルをお読みいただき、必ず守ってください。



△ 危険

●体重15kg～36kgのお子さま以外に使用しない。●背もたれの肩ベルトガイドがお子さまの肩より多少上になるように背もたれを調節すること。●背もたれの肩ベルトガイドに車のシートベルトを通さないで使用しない。●シートベルトは、ねじれ、緩みのないように着用させ、腰ベルトは骨盤上に低く下げて着用させる。●お子さまが座っていないときでもチャイルドシートはシートベルトで必ず固定してください。●チャイルドシート使用時は、お子さまを一人で車内に残さない。

チャイルドシートを取り付ける座席について

お奨めする取り付け座席

- ・お子さまの安全を最優先に考えチャイルドシートは、2列目以後の座席に取り付けることをお奨めします。
- ・やむを得ず助手席に取り付けた場合、お子さまの動作が気になり運転の妨げになるだけではなく、お子さまが運転装置にさわって事故につながるおそれがあります。

やむを得ずフロントエアバッグが装備された座席に取り付ける場合の注意

- ・座席をいちばん後ろ（後方）まで移動させます。（お子さまに対してエアバッグの影響を少なくすることが必要です。）
- ・エアバッグを無作動にできる場合は、車の取扱説明書に従ってください。

サイドエアバッグが装備された座席に取り付ける場合の注意

- ・車の取扱説明書に準じてチャイルドシートを取り付けてください。
- ・車の取扱説明書に取り付け方の説明が記載されていない場合は、自動車メーカーのお客さま相談窓口にお問い合わせください。

取り付けできない座席



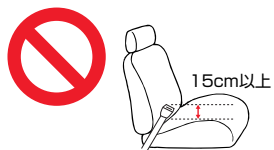
- ・車のシートベルトの取り付け幅が、38cm 未満の座席。



- ・座面の奥行きが40cm 以下の座席。



- ・座席のフラット面が38cm 未満の座席。
(市販座席に取り替えられた車、スポーツ車、レース車など)



- ・バックル位置が座面より15cm 以上高くなる座席。(チャイルドシートが落ち込む座席)
- ・本取扱説明書の通りに取り付けできない座席。

シートベルトの種類について

- ・3点式シートベルトの座席にのみ取り付けできます。
- ・車の取扱説明書をご覧ください、シートベルトの種類を確認してください。

⚠ 危険

- ・パッシブシートベルト(座席に座りドアを閉めると自動的にシートベルトを装着してくれる)の座席では使用しない。
- ・3点式シートベルトの上下取り付け部が共に巻き取り式のついた座席では、使用しない。
- ・シートベルトが、取り付けられていない座席では使用しない。

⚠ 注意

- ・プリテンショナー付きシートベルト(強い衝撃を前から受けたときにシートベルトを引き込む)で強い衝撃を受け作動した後は、そのまま使用せずに車の購入店で点検を受けること。

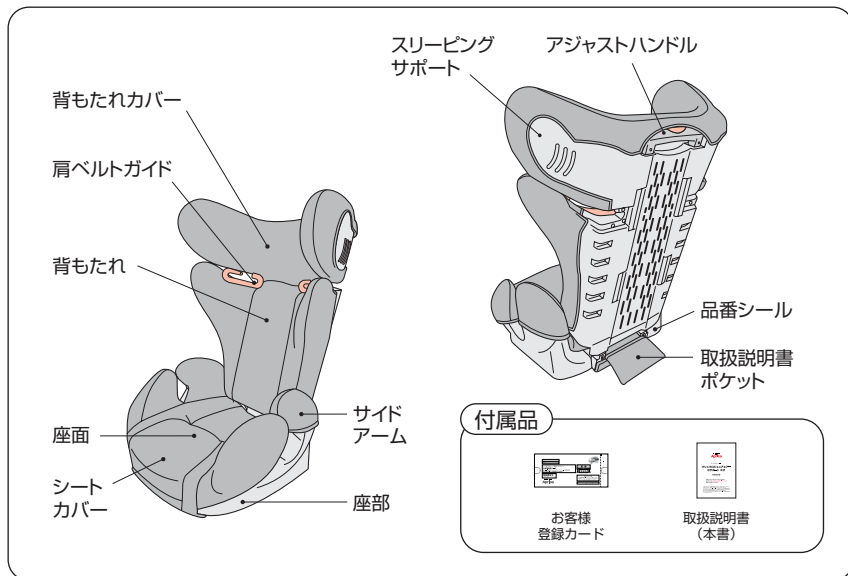
チャイルドシートについて

- ・チャイルドシートは、お子さまの安全を守るための機能を備えておりますが、これらの機能は事故により、お子さまの受けるダメージを軽減することは可能ですが、事故から無傷で守ることはできません。

製品の特徴

- ・軽量簡単装着
- ・通気性クッション
- ・フロントエアベンチレーション
- ・マッシュマロクッション
- ・背もたれ高さ上下調節付き

本体と付属品の名称



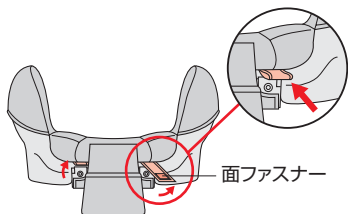
緊急の場合には

- ・緊急の時はあわてずに車のシートベルトのバックルを外し、サイドアームからシートベルトを外して、お子さまを降ろして安全な場所へ避難してください。

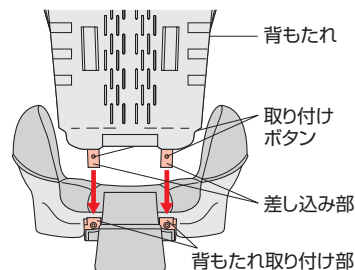


ご使用前に

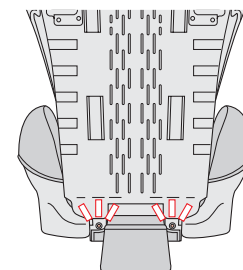
背もたれの取り付け方



- ① 背もたれ取り付け部をカバーしてある縫製品の面ファスナーを外し、シートカバーと座部の間に入れ、収納します。



- ② 背もたれの取り付けボタンを押しながらか、背もたれ取り付け部に差し込みます。



- ③ 背もたれが確実に取り付けられているか背もたれを引き、ロックが掛かっていることを確認します。

※背もたれを取り付ける場合は、背もたれの差し込み口にシートカバーなどがかみこまない様に注意してください。

⚠ 注意

- ・お子さまを乗せる前に背もたれが確実に取り付けられ、取り外しボタンが確実にとまっているかを確認してください。
確実に取り付けられていないで使用いたしますと、衝突や急ブレーキなどにより車両より放り出されたり、フロントガラスにぶつかり生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

点 検

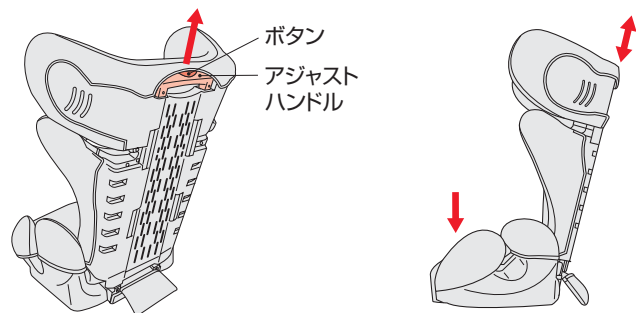
- ・使用前には必ず各部を点検してください。
- ・本体に割れやき裂などが無いことを確認してください。
- ・シートカバーに破れやほつれが無いことを確認してください。
- ・万一、破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、必ず弊社サービス員の点検・修理を受けてください。

⚠ 警告

- ・車のシートベルトに傷、損傷、き裂、焦げなどの損傷がある状態で使用しない。
衝突や急ブレーキなどによりお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

操作方法

背もたれの高さ調節



- ・チャイルドシートの背もたれ後面のアジャストハンドルのボタンを押して、背もたれを上下させます。(上下しにくい場合は、片方の手で座面を押さえてください。)

⚠ 危険

- ・背もたれ付きでご使用になる場合は、背もたれの肩ベルトガイドがお子さまの肩よりも少し上の位置（2cm以内）になるように背もたれを調節すること。
- ・チャイルドシートを調節するたびに、調節した部分が正しい位置にロックされていることを確認する。衝突や急ブレーキなどにより車両より放り出されたり、フロントガラスにぶつかり生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 警告

- ・車のシートベルトは、ねじれ、緩みのないように着用させ、腰シートベルトは骨盤上に低く下げて着用させる。衝突や急ブレーキなどにより強い圧迫などを受け重大な傷害を受けるおそれがあります。

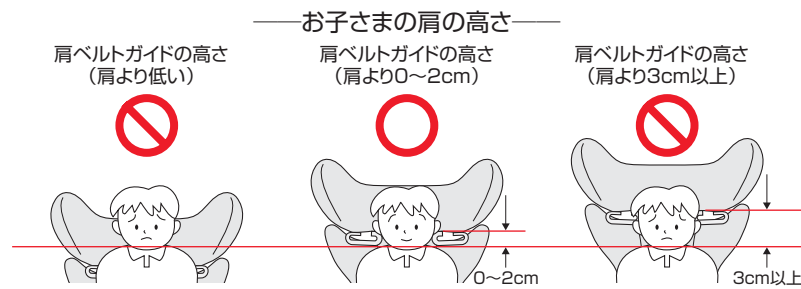
⚠ 注意

- ・お子さまをチャイルドシートに座らせた時、後頭部が背もたれの上端部よりでないこと。

車の座席への取り付け方法

背もたれ付きの場合

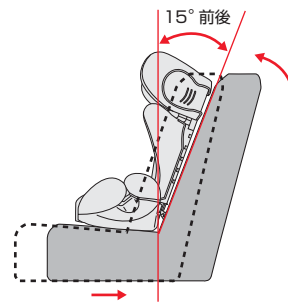
- ・自動車には進行方向に対して前向きで3点式シートベルトのみ装着できます。
体 重：15kg～25kg
参考年齢：3歳頃～7歳頃のお子さま



- 1 お子さまに合わせてチャイルドシートを調節します。
(背もたれの高さ・肩ベルトガイドの位置)

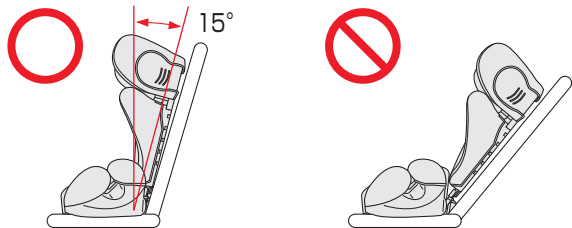
※肩ベルトガイド部がお子さまの肩の高さか、少し上の位置（2cm以内）になるように調節してください。

重要：チャイルドシートの肩ベルトガイド（背もたれ）の高さを選択する場合、お子さまが座られた時の肩の高さが決定的な決め手になります。



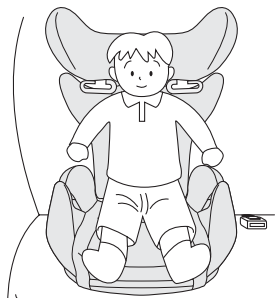
- 2 車の座席が前後にスライドできる場合は、座席を出来るだけ後ろの位置にスライドさせます。座席がリクライニング付きの場合は、車の座席の背もたれを15°前後の傾きに調節します。

- 3 チャイルドシートの背もたれと、車の座席の背もたれの隙間が出来るだけ小さくなるようにチャイルドシートを置きます。



・車の背もたれを極端に倒した状態で使用しない。
衝突や急ブレーキなどにより保護機能を発揮できず危険になるおそれがあります。

参考：チャイルドシートの背もたれと、車の座席の背もたれの間ができるだけ小さくなるように、座席のヘッドレストを調整してください。



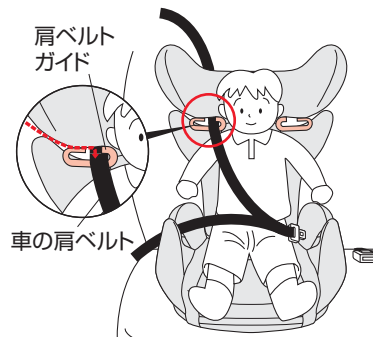
④チャイルドシートの上にお子さまを深く座させます。



・お子さまが正座やひざをたてた状態でチャイルドシートを使用しない。
衝突や急ブレーキなどにより車両より放り出されたりフロントガラスにぶつかり生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。



・乗降時に通路になる座席にチャイルドシートを取り付けない。(2ドア、3ドア車及び1ボックス車など)
衝突などの緊急時に、車内の人が脱出できなくなり重大な事故につながるおそれがあります。

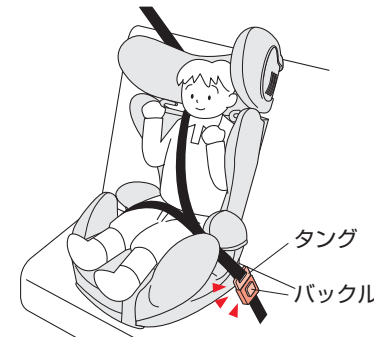
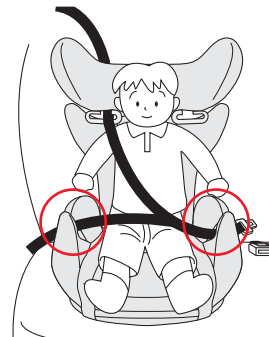


⑤車の肩シートベルトを背もたれの肩ベルトガイドに通します。

※お子さまの成長にともない、肩ベルトガイドの位置が低くなった時は背もたれの高さを調節してください。



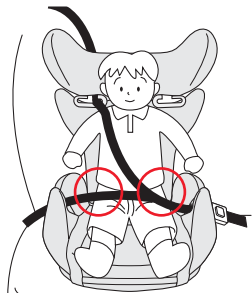
・肩ベルトガイド部は、車のシートベルトがお子さまの正しい肩の位置で締められるように調節するものです。お子さまの成長に伴い、肩ベルトガイド部が低くなったときには、背もたれの高さを調節してください。



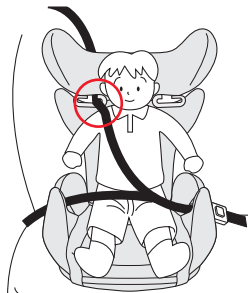
⑥車の腰シートベルトを左右両側のサイドアームの内側に通し肩シートベルトをバックル側のみサイドアームの内側に通してタングをバックルに差し込みます。



・シートベルトのタングは「カチッ」と音が鳴るまでバックルに差し込むこと。

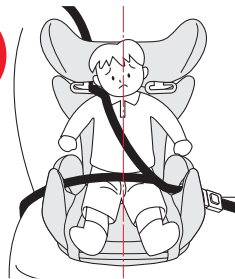


※腰シートベルトをお子さまの骨盤の上に低く下げてセットしてください。

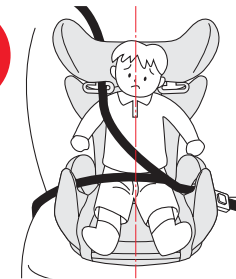
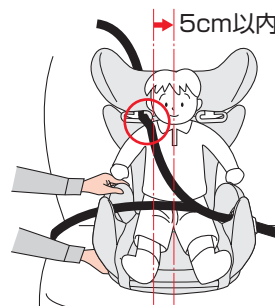


※肩シートベルトがお子さまの首や、身体の弱い部分に掛かっていないことを確認してください。

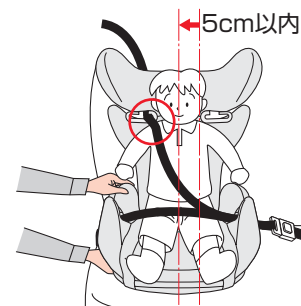
取り付け後の調節方法



〈肩シートベルトが首に掛かる場合〉



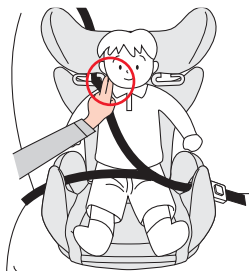
〈肩シートベルトが肩から外れる場合〉



警告

- ・シートベルトに、ねじれ、緩みがある状態で装着させない。
衝突や急ブレーキなどにより強い圧迫などを受け重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ・お子さまの首や腹部など、身体の弱い部分に車のシートベルトを掛けない。
衝突や急ブレーキなどによりお子さまが首や腹部を締めつけられるおそれがあります。
- ・取り付け完了後は、車の座席を前後にスライドさせたり、リクライニングをさせない。
衝突や急ブレーキ時に、保護機能を発揮できずに危険です。

参考：適切な肩シートベルトの位置は、お子さまの首とベルトの間に指が1～2本入る隙間を空けてください。



※上記の説明通りに取り付けできない場合は、P18「取り付け後の調節方法」をご参照ください。

- 肩シートベルトがお子さまの首に掛かる場合や、肩から外れる場合は、チャイルドシートを座席の中央から左右に5cm以内の範囲で移動させます。
(チャイルドシートの座面が左右に傾かない範囲で調節してください。)
- ※チャイルドシートを移動しても、肩シートベルトがお子さまの首に掛かったり、肩から外れる時は、この座席では使用できません。

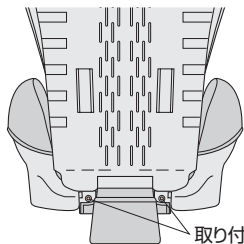


危険

- ・チャイルドシートが、取扱説明書通りにセットできない座席では使用しない。
- ・車のシート形状やベルトの位置により、車のシートベルトが戻りにくく、緩みがある状態では使用しない。
- ・肩シートベルトは胸の前を通してから肩ベルトガイドを必ず通してください。
衝突や急ブレーキなどによりお子さまが車両より放り出されたり、フロントガラスにぶつかり生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

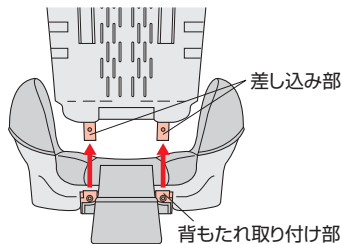
背もたれの取り外し方

取り外し方

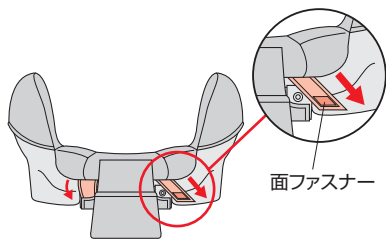


取り付けボタン

①座席の後方にある取り付けボタンを押します。



②背もたれを上引き抜き、背もたれを取り外します。



面ファスナー

③シートカバーと座部の間から縫製品を引き出し、背もたれの取り付け部をカバーして面ファスナーでとめます。

※取り外した背もたれは、大切に保管してください。

※背もたれを取り外しての車への取り付け方はP20～21「車の座席への取り付け方法」をご参照ください。

※背もたれを取り付ける場合はP11～12「背もたれの取り付け方」をご参照ください。

△ 注意

・お子さまを乗せる前に背もたれが確実に取り付けられ、取り外しボタンが確実にとまっているかを確認してください。
確実に取り付けられていないで使用いたしますと、衝突や急ブレーキなどにより車両より放り出されたり、フロントガラスにぶつかり生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

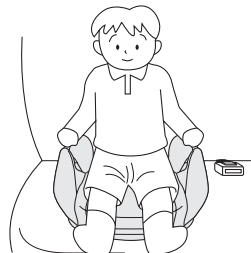
車の座席への取り付け方法

背もたれを外した場合

・自動車には進行方向に対して前向きで3点式シートベルトのみ装着できます。

体 重：15kg～36kg

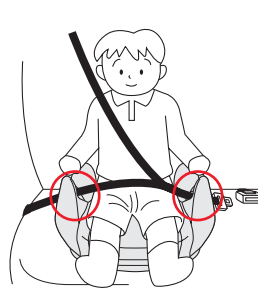
参考年齢：3歳頃～11歳頃のお子さま



①チャイルドシートの上にお子さまを深く座させます。

△ 危険

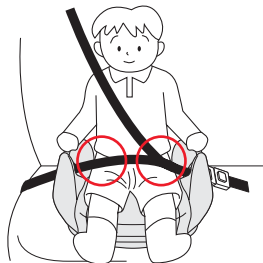
・お子さまが正座やひざをたてた状態でチャイルドシートを使用しない。
衝突や急ブレーキなどにより車両より放り出されたりフロントガラスにぶつかり生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。



②車の腰シートベルトを左右両側のサイドアームの内側に通し肩シートベルトをバックル側のみサイドアームの内側に通してタングをバックルに差し込みます。

△ 注意

・シートベルトのタングは「カチッ」と音が鳴るまでバックルに差し込むこと。



※腰シートベルトをお子さまの骨盤の上に低く下げてセットしてください。



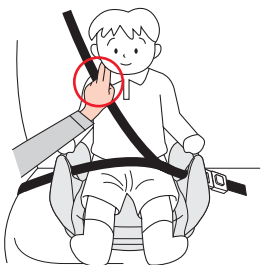
※肩シートベルトがお子さまの首や、身体の弱い部分に掛かっていないことを確認してください。



警告

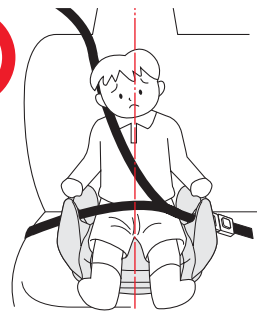
- ・シートベルトに、ねじれ、緩みがある状態で装着させない。
衝突や急ブレーキなどにより強い圧迫などを受け重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ・お子さまの首や腹部など、身体の弱い部分に車のシートベルトを掛けない。
衝突や急ブレーキなどによりお子さまが首や腹部を締めつけられるおそれがあります。
- ・取り付け完了後は、車の座席を前後にスライドさせたり、リクライニングをさせない。
衝突や急ブレーキ時に、保護機能を発揮できずに危険です。

参考：適切な肩シートベルトの位置は、お子さまの首とベルトの間に指が1～2本入る隙間を空けてください。

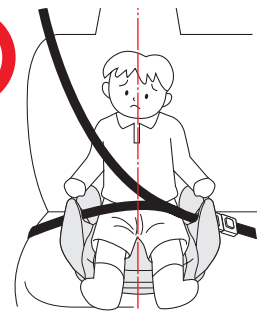


※上記の説明通りに取り付けできない場合は、P22「取り付け後の調節方法」をご参照ください。

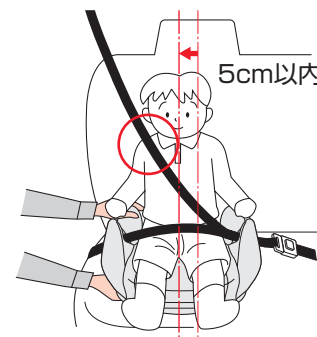
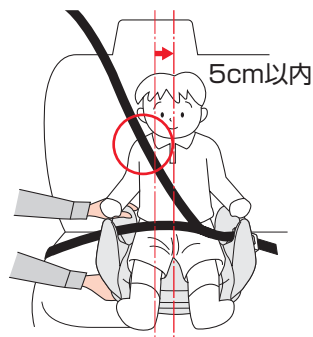
取り付け後の調節方法



〈肩シートベルトが首に掛かる場合〉



〈肩シートベルトが肩から外れる場合〉



- 肩シートベルトがお子さまの首に掛かる場合や、肩から外れる場合は、チャイルドシートを座席の中央から左右に5cm以内の範囲で移動させます。
(チャイルドシートの座面が左右に傾かない範囲で調節してください。)
- ※チャイルドシートを移動しても、肩シートベルトがお子さまの首に掛かったり、肩から外れる時は、この座席では使用できません。

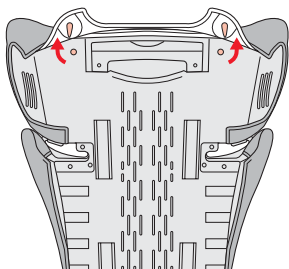


危険

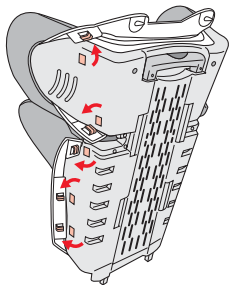
- ・チャイルドシートが、取扱説明書通りにセットできない座席では使用しない。
- ・肩シートベルトは必ず胸の前を通してください。
衝突や急ブレーキなどによりお子さまが車両より放り出されたり、フロントガラスにぶつかり生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

日常のお手入れ

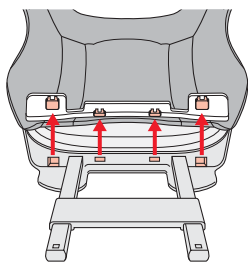
縫製品の取り外し方



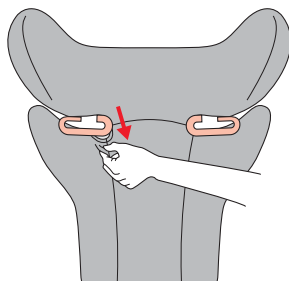
① 背もたれ上部のクリップ (2カ所) を外します。



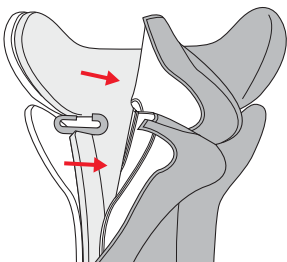
② 背もたれ側面のフック (5カ所) を外します。(左右)



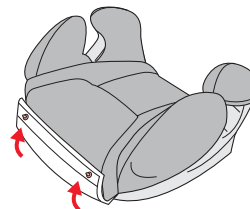
③ 背もたれ下部のクリップ (4カ所) を外します。



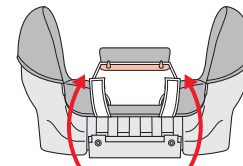
④ 肩ベルトガイド部のシートカバーを外します。(左右)



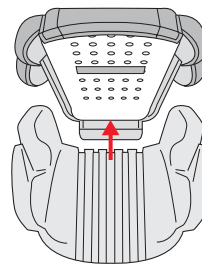
⑤ シートカバーを取り外します。



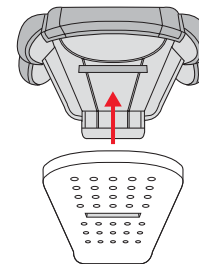
⑥ 前方のホック (2カ所) を外します。



⑦ 後方のホック (2カ所) を外します。



⑧ シートカバーを取り外します。



⑨ シートクッションからシートカバーを外します。

⚠ 注意

・ホック (芯材) などを外す時は充分ご注意ください。
手、指などがをるおそれがあります。

⚠ 注意

・シートカバー内部のクッション材は、洗淨しない。
・内部のクッション材を取り外したり、他の物と交換したり、やぶれた状態で使用しない。
衝突などの緊急時に、お子さまの安全を守るための機能が充分発揮できないだけでなく、生命に関わる重大な危険になるおそれがあります。

縫製品の洗浄について



液温は、30℃を限度とし、弱い手洗いにしてください。
(洗たく機は使用できません。)



ドライクリーニングは、しないでください。



塩素系漂白剤は、使用しないでください。



洗たく後、絞らないでください。



アイロン掛けは、しないでください。



干し方は、日陰の平干しにしてください。



注意

- ・縫製品を手洗する際にクリップなどでけがをしない様に気をつけてください。
- ・シートカバー内部のクッション材は洗浄しない。

プラスチック部分のお手入れ方法

- ・ほこりなどは、ぞうきんで乾拭きしてください。
- ・水溶性の汚れ（果汁、ヨダレ、おしっこなど）の場合
40℃前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。
- ・非水溶性の汚れ（牛乳、油脂、マヨネーズなど）の場合
40℃前後のお湯に中性洗剤を溶解し、汚れた部分をスポンジで軽くこすります。その後、冷水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って充分に中性洗剤を拭き取ってください。

保管方法

- ・チャイルドシートを長期間、ご使用にならない場合は、ポリ袋などに入れ、直射日光の当たらない、冷暗所に保管してください。

廃棄方法

- ・事故により処分する場合は、本品に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入してください。
- ・地球環境のため、お住まいの各自治体の指示にしたがい処分、廃棄してください。

保証について

- ・製品の保証内容については、保証書をご参照ください。
- ・ただし本製品による二次的な損傷については保証いたしかねます。

アフターサービスについて

- ・ご使用中に万一故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換又は修理の必要が生じた場合、及び、そのほか異常を感じた場合は、使用を中止して品名、品番、ロット番号をお確かめの上、(P11「本体と付属品の名称・品番シール」)をご参照ください。) お買い求めの販売店又は、弊社サービス係までご連絡ください。

〈アフターサービスについての連絡先〉

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、当社所定休日を除く）

〈製品をお送りいただく場合の宛先〉

〒632-0221 奈良県奈良市都祁白石町1397-1

アップリカ 奈良サービスセンター ☎ (0743) 84-2050

製品仕様

商品サイズ	・ W：495mm × D：410～420mm × H：645～745mm
商品重量	・ 3.3 kg
材質	・ 背もたれ：ポリプロピレン
	・ 本体台座：ポリエチレン
	・ シートクッション：ポリウレタン
	表生地：ポリエステル
クッション材	：ポリウレタンフォーム